

令和4年度全国学力・学習状況調査 教科における学習内容の定着状況の概要（廿日市市版）

小学校国語

○正答率の状況（％）

	R4	R3
廿日市市	70.0	70.0
広島県	67.0	66.0
全国（公立）	65.6	64.7

正答率 60%以上の設問（上位2問）

- 【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する。
 <設問1 一> 88.0%
- 【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する。
 <設問1 三> 87.2%

正答率 60%未満の設問（下位2問）

- 【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く。
 <設問3 二> 45.2%
- 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、でどのように話すかを書く。
 <設問1 四> 53.0%

広島県との差が大きかった設問（下位2問）

- 【山村さんの文章】のB<input type="checkbox"/>に入る内容として適切なものを選択する。
 <設問2 三> -2.7ポイント（廿日市市 58.2%、広島県 60.9%）
- 【文章2】のの部分で、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する。
 <設問3 一> -2.1ポイント（廿日市市 61.2%、広島県 63.3%）

正答率の状況から見取った課題

<全体的な傾向> 【評価の観点】思考・判断・表現 【問題形式】記述式に課題がある。

- ①文章全体の構成や展開、表現の効果に着目して、文章を整えたり文章のよさを書いてまとめたりすることに課題がある。
- ②条件に合わせて自分の考えを書くことに課題がある。

説明力、表現力を育成するために

1 丁寧に読む 書いてある内容を正しく読み取る

〈何が書かれているか〉

何が話題になっているか、
筆者が伝えたいことは何か など

〈どのように書かれているか〉

語句や表現、構成の工夫などに着目

〈なぜそのように書かれているのか〉

題名や文章中の表現に込められた意味は何か、事例の並べ方の意味は何か など

例えば…第1学年下 国語「いろいろなふね」43ページ～

①このお話には、ふねはいくつ出てきますか。⇒文章の具体的な内容をとらえる

②どこからどこまでが「客船」のお話でしょうか。(以下、フェリーボート、漁船、消防艇についても確認) ⇒意味段落のまとまりをとらえる、各段落の書きぶりをとらえる

③一番すごいと思うふねはどれですか。

⇒「自分の一番」を選ぶために文章を細かく読んで理由を考える

文章の書き方を捉える力を育成



2 しっかり考えて書く 条件に照らして文章の内容や構成、書き方を工夫して書く

誰に向けて書くか、何のために書くか

何を書くか、どのような構成で書くか

書き方をどう工夫するか、どこをどう推敲するか など

例えば…構成メモをつくる

①テーマに関する情報収集 ②情報の分類・整理 ③文章の構成

付箋やタブレットを使って伝えたいことを書き出す、選択する、並び替える…など

R3の指導の工夫ポイント
等も参照してください

3 きちんと見直す 構成メモをもとに条件に照らしながら、内容を入れ替えたり、表現を直したりする

この文章で目的に合っているか

相手に伝わる書き方になっているか

など

例えば…互いの文章を読み合い、具体的に感想や意見を伝え合う活動



先生

〇〇さんは、推敲のときにことわざを最初の段落に書き加えていましたね。どうしてそうしようと思いましたか。

書き手が工夫したところを自ら伝えられるように、教師が尋ねる



児童 A

自分がかんばろうと決意したきっかけをくれた言葉だったので、文章のはじめに書き加えました。

書き手に思いを表出させたり、工夫やよさに気付かせたりする



児童 B

ことわざの「最初の〇〇」を文章全体を通して繰り返し使っているのので、小池さんの「今年、いろいろなことにあきらめずに挑戦したい」という思いが伝わったよ。

経験の取り上げ方や言葉の選び方、書き方の工夫を認め合い、自分の表現に生かす